|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 連絡先: 青木 俊之ヒロコーポレーション電話: (03) 1234-5678FAX: (03) 1234-5677  | 123-4567東京都調布市調布ヶ丘 1-2-3www.hiro.microsoft.com | ヒロコーポレーション  |

# プレス リリース

### ヒロコーポレーション、四半期の業績を発表

前年同期に比べて増収

シアトル、2004 年 7 月 23 日:  ヒロコーポレーションは本日、2004 年 6 月 30 日を末日とする 2004 年度第 4 四半期 16 週間の業績を発表しました。純利益は 1 億 2 千万円、1 株あたり利益は 6 円で、前年同期と比べ 2 億3 千万円、1 株あたり 57 円の減収です。売上は 4 億 8 千万円で、前年同期の 5 億 4 千万円から減少しました。

コンサルティング サービス部門は、前年同期に比べ契約件数は減少したものの、5.5% 増の 8 千万円の EBITDA\* を報告しました。ヒロコーポレーションの会長兼代表取締役社長である岩村 浩之氏は、「ヒロコーポレーションは継続的にサービスを改善していきます」と述べています。

「継続的な業務改善と共に、積極的なサービスのシフトが第 4 四半期の業績に貢献しました。ヒロコーポレーションのブランド化されたコンサルティングの成長は、 Web デザイン部門の不振によって相殺されてしまいましたが、四半期の終わりに向けてシナジー サービス部門で業績の伸びを見たことに希望を持っています」と岩村氏は続けます。ヒロコーポレーションは、スタートアップ企業に焦点を合わせた新しいスタイルのコンサルティング サービスの展開をほぼ完了しました。

ヒロコーポレーションの経営陣は、次の四半期の収益が、デザイン サービスで 0.5 ～ 1%、コンサルティング サービスで 2 ～ 4% という目標成長水準に近づくことを期待しています。ヒロコーポレーションでは引き続き、2004 年の EBITDA として 4 億 2 千 ～ 5 億 1 千万円、1 株あたり利益として年間 20 ～ 26 円を予想しています。

ヒロコーポレーションは、2004 年 7 月 24 日 10:30 (太平洋標準時) から、http://www.hiro.microsoft.com で四半期ごとの電話会議をインターネットでブロードキャストします。会議はサイトにアーカイブもされます。

東京都調布市を拠点とするヒロコーポレーションは、日本の主要なコンサルティング/デザイン企業の 1 つであり、シナジー サービスに特化しています。

\*金利・税金・償却前利益 (EBITDA)。このプレス リリースにおけるすべての出現箇所において、EBITDA は、継続事業部門の調整前 EBITDA を指します。